



# 多摩クリニック ニュースレター 第47号 2020秋号

Autumn 2020

## 1年生、5年生の実習が始まりました。

多摩クリニックでは、現在1年生の見学実習と、5年生の臨床実習を行っております。

昨今のCOVID-19により、学生はオンライン授業が中心となり、対面授業が大幅に削減されています。その状況下での実習では久々に会うことのできた仲間に嬉しそうな表情が伺えましたが、歯科医師を目指すため緊張した面持ちで、多くの学びを得ようと学生は真剣に実習に励んでおります。

本来の実習では、在宅で生活している患者さんのお宅に学生も同行しておりますが、今年度は昨今の事情を鑑みてVRを用いた実習を行いました。また、多摩クリニックでは終末期医療にも多く携わっており、「患者さんの看取り」にも立ち会うことが増えてきております。そのため、もしバナゲームを用いてACP(Advanced Care Planning)について考える機会を設け、歯科疾患を抱えている患者さんを全体的・全人的に捉え診療できる歯科医師の育成にも励んでいます。



VR実習



もしバナ  
ゲーム実習

### 多摩クリニックで実習を終えて 一実習を終えた学生より

私は訪問診療が地域との連携だということを知りました。自宅に伺うのではなく福祉的な面、口腔以外の健康状態なども検討に入れて考え、様々な職種と連携を取ることで患者さんのサポートをしていくのが訪問診療だと学びました。また、最善のプランが最良とは限らないということです。各家庭の環境や金銭的狀態、そのほかにも様々な要因を鑑みてプランを提案することは歯科医としての技術力と同じくらいコミュニケーション能力を求められているのだと思いました。(Aさん)

私が訪問診療に興味がある理由は、動くことのできない高齢者の楽しみは食べる事だと思っている患者さんが多いため、そんな患者さんに歯科医師ができることは何なのか今のうちに知っておきたいと思っていたからです。初めて訪問診療を行う所を間近で見ることができたのでこのVR訪問診療実習を生かして学生生活での勉強につなげていきたいと思いました。(Bさん)

私は初めて「Medical Social Worker」による講義を受け、どのような理念や目的を持ち患者さんを支えているのかを理解することができました。また、講義内で行ったもしバナゲームでは、人によって様々な考えや感性があり、求めることが違うのだということを改めて感じる事ができました。(Cさん)

